

第一興商 証券コード:7458

ステークホルダーの皆様へ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第50期中間期の決算の状況についてご報告いたします。

当中間期におきましては、業務用カラオケ事業及びカラオケ・飲食店舗事業を中心に、コロナ影響下にあった数年間に十分行えなかった投資を推進することにより、安定的収益基盤を改めて強固なものとするための取り組みを行ってまいりました。

業務用カラオケ事業におきましては、賃貸用機器の新機種への入替えを積極的に推進したほか、音楽フェス等のライブシーンが活況を呈するなかで、強みである映像コンテンツをさらに充実させることにより、DAMの商品力強化を図りました。また、エルダー市場専用機であるFREE DAM LIFEは介護施設等の職員様・ご利用者様ともに高い評価をいただいております。高齢者施設に限らず、障がい者施設やキッズ施設などにも活躍の場を広げていく取り組みを進めております。

カラオケ・飲食店舗事業におきましては、ビッグエコーのDAM直営店という立ち位置を明確にし、カラオケ設備や美観など、他に真似のできない歌唱環境の提供に努めております。また、飲食店舗においては予約受注が好調に推移するなか、サービスのクオリティ向上に努めるとともに、新たなニーズに対応するブランド開発も継続しております。

その他事業においては、当社の第三の柱とすべく注力しておりますパーキング事業が堅調に規模を拡大するなかで、「土地活用といえば『ザ・パーク』』という認知拡大を図りました。

これら各事業で諸施策を実施した結果、当中間期の業績は、売上高及び親会社株主に帰属する中間純利益において過去最高となりました。

私たちは、カラオケDAMを中心とした全ての事業において、全てのステークホルダーの皆様へ「喜びを届ける」ことを旨としてまいりました。おかげ様でDAMは発売より30周年を迎え、カラオケは社会にとってなくてはならない存在となりつつあることを確信しております。

これからも「もっと音楽を世に もっとサービスを世に」の社是のもと、より一層カラオケの魅力を高めることにより、音楽産業全体の発展はもとより、ストレスの改善や健康寿命延伸といった社会課題解決に寄与し、うたと音楽のチカラで社会から求められる企業として、持続的な成長を目指してまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 保志 忠郊

DAM発売30周年を記念して、DAMのブランドイメージを音で表現したサウンドロゴを制作しました



DAM公式
Youtubeチャンネルにて公開中



専務執行役員
エンターテインメント事業本部長兼開発本部管掌
兼音楽ソフト子会社管理部管掌

渡邊 泰人に聞く

魅力的なコンテンツの配信で 歌う楽しさを日本中のすべての方々へ。

カラオケの枠を超えて、 音楽業界を盛り上げていきたい。

高品質な音と臨場感あふれる映像に包まれながら、思い切り歌う楽しさを満喫する喜び……そんなカラオケユーザーの想いを叶えるために、楽曲・映像コンテンツの企画・制作から、音楽出版事業、権利取得交渉や宣伝・プロモーションまで幅広い活動を展開しているのが私たちエンターテインメント事業本部です。元来はカラオケの音源と映像を制作する部署でしたが、従来の枠を超えて音楽業界全体を活性化したいという決意とともに2021年4月、現在の新しい本部名で始動しました。

音楽業界では、CDの売り上げ低下が懸念される昨今ですが、CDからダウンロード・ストリーミングへと配信スタイルがシフトしたに過ぎず、音楽自体はむしろ活況を呈しています。新しいトレンドをいち早くカラオケに取り込むべく、レコード会社や音楽事務所、アーティストとのコラボ企画を展開しながら、カラオケボックスへと集客を促す取り組みを推進しています。人気バンド、THE ALFEEの結成50周年と連携し、カラオケ人気曲50曲がデザインされた「歌朱印」をビッグエコー50店舗でプレゼントするキャンペーンもその一例です。

時代の変化をスピーディに捉えながら、 さらなる顧客満足へ。

音楽シーンの変化には、目を見張るものがあります。配信スタイルの多様化とともに、思いもつかないメディアからアーティストや楽曲の人气が沸騰し、あっという間に世の中に拡散する時代です。そうした新たな潮流を敏感かつスピーディに捉えながら、より魅力的なカラオケコンテンツとして創り上げ配信していくことが、私たちエンターテインメント事業本部に課せられた大きな使命です。常識に捕らわれることなく、次なるトレンドにアンテナを張りながら、誰もがヒーロー、ヒロイン気分になることができる音楽感動の場を提供していきます。

その成果の一つが、熱気と躍動感に満ちたアーティストのライブステージを、カラオケならではの大型モニターと大音量で再現することで、見ても歌っても盛り上がる「ライビュー！」です。同様のコンテンツサービスは他にもありますが、当社の「ライビュー！」は音や映像品質に加え、コンテンツ数でも圧倒していると自負しております。

また、この9月より、音楽ディストリビューターと提携し、



新鋭アーティストの楽曲を通信カラオケDAMに配信する「ANTENNA!」というサービスを開始しました。これから流行ると思われる楽曲をいち早くキャッチアップするとともに、この新サービスをより幅広いマーケティング活動に役立ててまいります。

歌う楽しさを、 もっともっとお届けしていくために。

コンテンツの企画・制作に際しては、ヒットチャートなどの活用はもちろん、私たちが大切にしているのが、足で拾い集めた情報です。コンサートやライブに頻繁に出向き、アーティストや楽曲の個性、斬新さあるいは聴衆の反響など、実体験で得た感想をもとに意見を交わし合いながら新たなコンテンツ取得に集約しています。こうした現場主義に基づくユーザーニーズの発掘力と、自由闊達なコミュニケーション環境こそが、私たちエンターテインメント事業本部の強みです。

コロナ禍がようやく沈静化した今、カラオケボックスでは本来の活気がよみがえっております。改めて痛感するのは、歌うことの楽しさ、そして笑い涙する時も出会い別れる時もそこに寄り添う「歌う力」の尊さです。

また、歌うことで心が軽やかになるだけでなく、呼吸や適度な運動によって体にも良い影響があり、心身ともに健康効果をもたらします。当社の企業メッセージ「Singing 歌いながらこう」を念頭に、より魅力的なコンテンツ制作に取り組んでまいりますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

ネクストブレイクアーティストをカラオケで支援する

「ANTENNA!」



チューンコアジャパン株式会社が運営する音楽ディストリビューションサービス「TuneCore Japan」と連携し、ネクストブレイク候補アーティストの楽曲をDAMに配信する「ANTENNA!」を開始しました。

DAMはおかげ様で30周年

1994年に誕生したDAMが、4月に30周年を迎えました。
多くの皆さまに愛され、進化し続けてきたDAMの歴史を振り返ります。

1994/4

DAM-6400



同時発音数64ボイスの圧倒的な音の良さで通信カラオケに参入。社内公募で「Daiichikoshō Amusement Multimedia=DAM」と名付けられた。発売当初は2,000曲ほど。

2003/10

BB cyber DAM(DAM-G100)



ブロードバンド環境に完全対応。本体の性能向上により大量楽曲配信や生音演奏配信を可能にした。現在不動の人気を誇る「精密採点」の元祖が初搭載。

2010/10

LIVE DAM(DAM-XG5000)



グラフィック機能強化によって業界初のフルHD対応。本人出演映像や生音演奏を拡充することで「圧倒的な臨場感＝ライブ体験」を演出。

2023/4

LIVE DAM AiR(DAM-XG8000R)

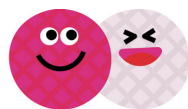


AIカラオケがさらに進化。「ライブサウンド」にエキサイトライブホールが追加され、コール＆レスポンスや観客の大合唱がライブの臨場感を演出し、アーティスト気分を味わえる。

ビッグエコー最新の取り組み

ビッグエコーで、子どもたちを対象に「職場体験」を実施

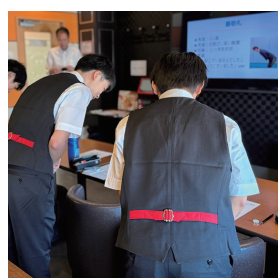
ビッグエコーでの仕事を通し、働く上で必要なモラル・マナーやコミュニケーションスキルの習得に加え、自ら考え実践することで「応用力」や「問題解決能力」を身につけること、すべての仕事がお客様の「笑顔」につながっていることを学んでもらう目的で実施いたしました。ビッグエコーは、これからも「BIG SMILE, BIG ECHO.」のスローガンのもと、未来をひらく子どもたちを育む社会貢献活動に取り組んでまいります。



BIG SMILE, BIG ECHO.

お仕事体験の内容

「お客様の接客対応」、「カラオケ機器のメンテナンス」や「厨房での業務体験」、「新メニュー考案・作成」など、ビッグエコーならではの仕事を体験し、お客様に喜んでいただくための工夫や、店舗におけるチームワークの重要性を学んでもらいました。



あいさつの練習



カラオケ機器・
マイクのメンテナンス



新メニュー考案・作成

体験した方の感想

今回の職場体験で印象深かったのは、「接客を一番大切にしている」という点です。特に、挨拶の際のお辞儀の角度などが明確に決まっているのには驚きました。お客様に快適な時間を提供するためには、接客が非常に重要であることを改めて実感しました。



■ 新たなブランドで2店舗がオープン

当社グループの運営する飲食店舗「DKダイニング」では、お客様の新たなニーズに対応するため新ブランドの開発を推進しております。10月にはこだわりの出汁料理、新鮮食材の炭火焼、美酒で楽しむ完全個室の和食新業態「和食や あたらよ」を新宿東口駅前にオープンしたほか、12月には絶品窯焼き料理×アミューズメントの複合エンターテインメントプレイス「SHINAGAWA PIVOT」が、品川プリンスホテルイーストにグリラダイナーエリアを先行してオープンいたしました。

これからもDKダイニングは、こだわりの「食」とニーズに応じた「空間」で、「安心安全」に、外食ならではの喜びと感動をお届けいたします。



和食や
あたらよ
Atarayo
個室
和食や あたらよ
新宿東口駅前店
10月30日オープン

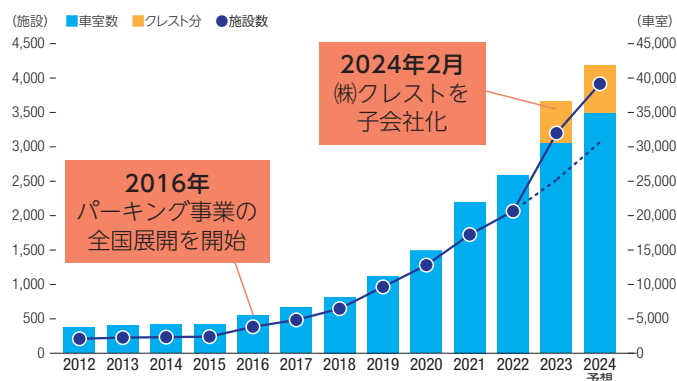


SHINAGAWA
PiVoT
GRILL DINER AMUSEMENT
SHINAGAWA PIVOT
12月6日オープン
※アミューズメントエリアは
来春オープン予定

■ パーキング事業「ザ・パーク」が40,000車室を突破

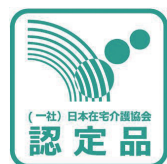


当社パーキング事業「ザ・パーク」は全国展開を開始してから8年が経過し、2024年9月末現在で3,600施設・40,000車室の規模に拡大しました。前期に子会社化した(株) クレストとの相乗効果を発揮し、今後さらなる成長を図ります。引き続き「土地活用といえば『ザ・パーク』』という認知を全国に拡大していきます。



■ 「FREE DAM LIFE」が認定マークを取得。介護現場で高評価

高齢者の介護予防・健康増進に役立つコンテンツを搭載した「DKエルダーシステム」専用機「FREE DAM LIFE」が、一般社団法人日本在宅介護協会の発行する「認定マーク」を取得しました。同協会は、民間の在宅介護事業者のサービスの質と効率性の向上を図り、高齢者が安心して介護を受けられる社会環境の整備に貢献することを目的とする在宅介護事業者団体です。



2024年4月から5月にかけて複数の施設で「FREE DAM LIFE」の試用を実施。その後、使いやすさや業務負担軽減度合いなどについてアンケート調査を行った結果、すべての項目で高評価を獲得したことから、同認定マークを取得しました。今後も、介護施設利用者の機能訓練や健康維持に、介護現場でのより働きやすい環境づくりに寄与してまいります。

「DKエルダーシステム」とは

楽しみながら継続できる機能訓練やフレイル予防を提供する介護予防・健康増進コンテンツ配信システム。「運動・口腔・認知」など、総合的な生活機能の維持・向上の効果が認められています。2024年10月現在、全国の高齢者向け施設など28,000カ所以上に導入されています。

FREE DAM LIFE

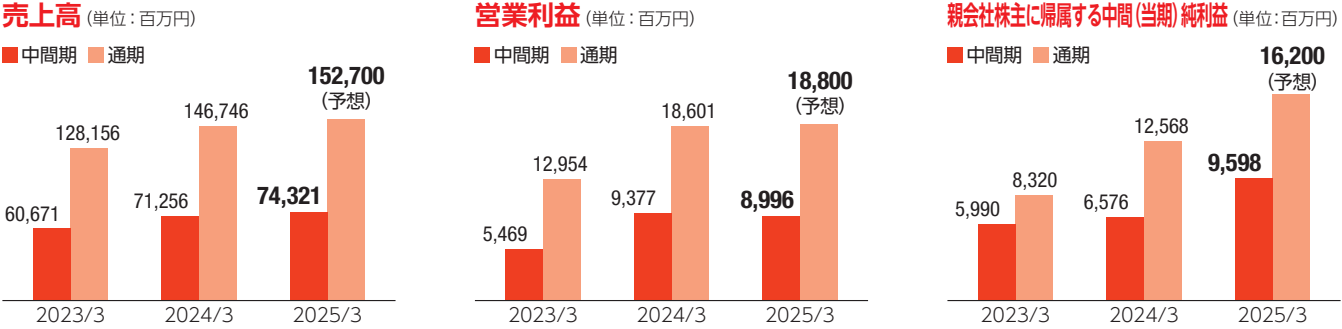


決算ハイライト

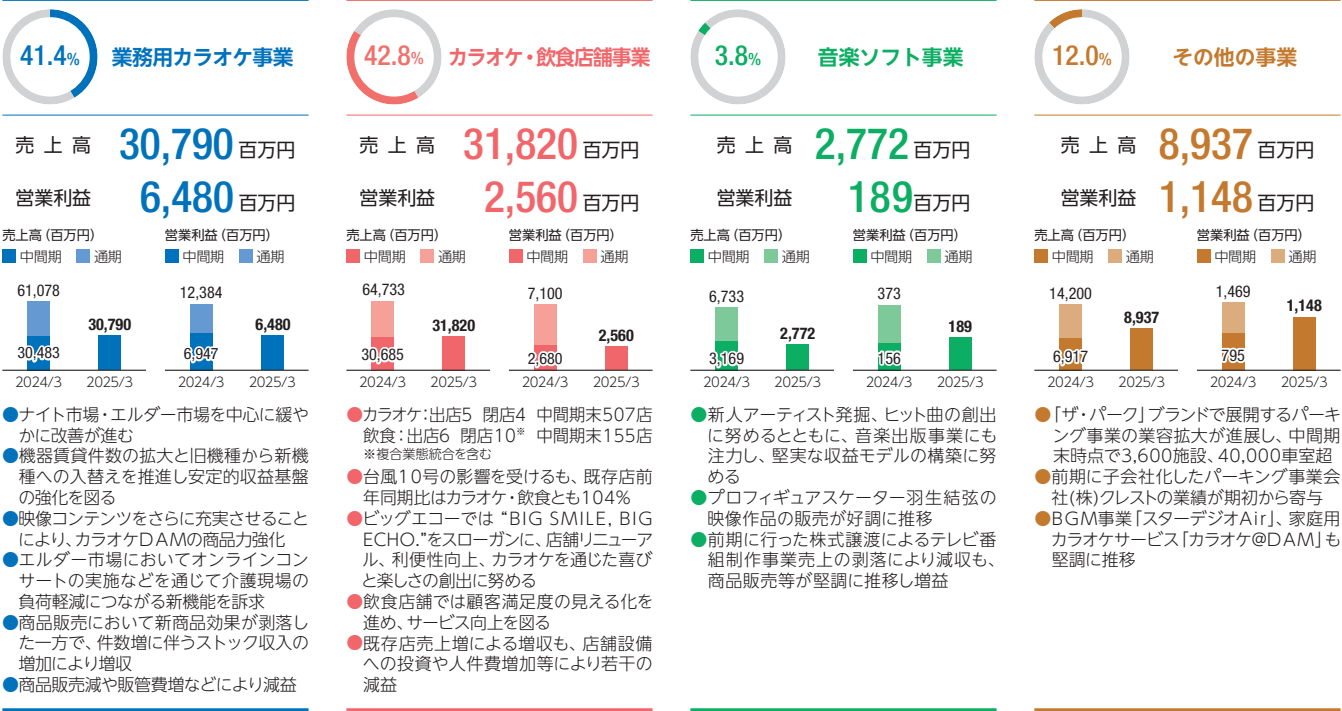
FINANCIAL HIGHLIGHTS

科 目	2023/3		2024/3		2025/3	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期(予想)
経営成績(百万円)						
売上高	60,671	128,156	71,256	146,746	74,321	152,700
営業利益	5,469	12,954	9,377	18,601	8,996	18,800
営業利益率(%)	9.0	10.1	13.2	12.7	12.1	12.3
経常利益	5,773	13,601	9,758	19,561	8,991	18,900
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	5,990	8,320	6,576	12,568	9,598	16,200
財務状況(百万円)						
総資産	184,480	188,623	174,219	211,386	202,631	—
純資産	108,286	107,915	105,860	108,991	112,635	—
キャッシュ・フロー(百万円)						
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,367	24,869	9,446	26,799	10,006	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,901	△ 12,104	△ 9,676	△ 55,915	△ 1,222	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,500	△ 9,493	△ 19,450	6,926	△ 16,575	—
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	70,124	71,423	51,810	49,306	41,530	—
1株当たりデータ(円)*						
1株当たり中間(当期)純利益	54.86	76.21	60.91	117.01	90.43	154.32
1株当たり純資産	976.51	974.95	976.58	1,006.80	1,059.00	—
1株当たり配当金(中間/期末)	56.00	57.00	28.00	29.00	28.00	29.00
主要経営指標(%)						
総資産経常利益率(ROA)	—	7.4	—	9.8	—	—
自己資本当期純利益率(ROE)	—	7.9	—	11.7	—	—
自己資本比率	57.8	56.4	59.9	50.9	54.9	—
配当性向	—	74.1	—	48.7	—	36.9

*2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純利益及び純資産については、2023/3期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しているほか、2023/3期の1株当たり配当金については当該株式分割前の実際の配当金を記載しております。



セグメント別概況



演歌・歌謡曲

里野鈴妹(さとのすずめ)

CROWN 日本クラウン株式会社

兵庫県川西市出身、2000年12月生まれの23歳。
幼少期から演歌好きであり、2023年に日本クラウン
の新人オーディションにおいて「準グランプリ」を受賞
し、2024年9月4日に「バカ酒場」でデビューしました。
明るいキャラクターから「スマイル演歌」という
キャッチフレーズを持ち、中高音の抜けの良さと叙情
感のある節回しが魅力の新人です。

12月にはNHK「演歌フェス2024」への出演が決
まっています。



J-POP

Jams Collection

2021年3月のステージデビューから人気
を獲得し続けている8人組アイドルグループ。
SNSでも人気・注目を集め、現在フォロワー
総数は180万人を超えています。また、ファッ
ションモデルやグラビア活動も積極的に行い、
活躍の場は多岐に渡ります。昨年は幕張メッ
セでのワンマンライブを成功させ、3年目を迎えた今年11月には日本武道館
でのワンマンライブも開催。アイドル界隈で注目を集める中心的グループへ
と成長しています。



会社情報

CORPORATE INFORMATION (2024年9月30日現在)

会社概要

商 号	株式会社第一興商 (英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.
設 立	1973年4月16日
資 本 金	12,350百万円
従 業 員 数	当 社 2,038名 グループ 3,518名
主な事業内容	業務用カラオケ事業、カラオケ・飲食店舗事業、 音楽ソフト事業、その他の事業
連 結 子 会 社	国内販売子会社25社、その他国内子会社11社、 その他海外子会社2社

株式状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	109,468,400株
株主数	44,507名

大株主

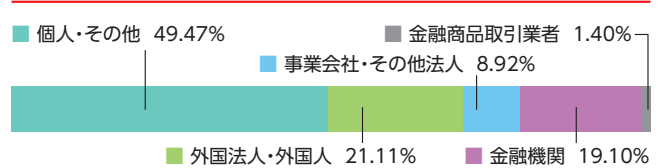
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
保志 忠郊	12,492	11.90
保志 治紀	12,239	11.66
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	11,030	10.51
JP MORGAN CHASE BANK 380055	5,868	5.59
(株)ホシ・クリエート	4,899	4.67

※ 持株比率は自己株式4,495千株を控除して計算しております。

役 員

代表取締役社長	保志 忠郊	監査役(社外常勤)	梅津 広
取締役	大塚 賢治	監査役(常勤)	小泉 文明
取締役	飯島 毅	監査役(非常勤)	柴野 浩良
取締役	保志 治紀	監査役(社外非常勤)	福田 方包
取締役(社外)	垂石 克哉		
取締役(社外)	柏崎 美樹		

所有者別株式分布



株主優待のお知らせ

2024年9月30日現在の株主名簿に記載された200株以上ご所有の株主様に
保有株式数に応じて優待券を贈呈いたします。

所有株式数	優待内容	年2回発行	
		優待券 ^{※1}	CD交換 ^{※2}
200株以上 2,000株未満		500円券×10枚	1枚
2,000株以上		500円券×25枚	2枚

※1 当社グループが運営するカラオケルーム「ビッグエコー」や「カラオケマックス」、「楽蔵」、「ワメツの家」、「じぶんどき」などの
飲食店などでご利用いただけます。

※2 優待券全額と引き換えを条件に、アルバムCDと交換いただけます。

贈呈時期 2024年12月4日より送付開始
有効期間 2025年1月1日～2025年6月30日

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して 臨時に基準日を定めます。
剰余金の配当受領株主確定日	期末配当金については3月31日 中間配当金については9月30日
単元株式数	100株

公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による
ことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人
及び特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

(電話照会先
郵便物送付先)

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話：0120-232-711(通話料無料)
郵送先：
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部